福津市新設小学校基本設計ワークショップニュース　No.8

2023 年 12 月 発行

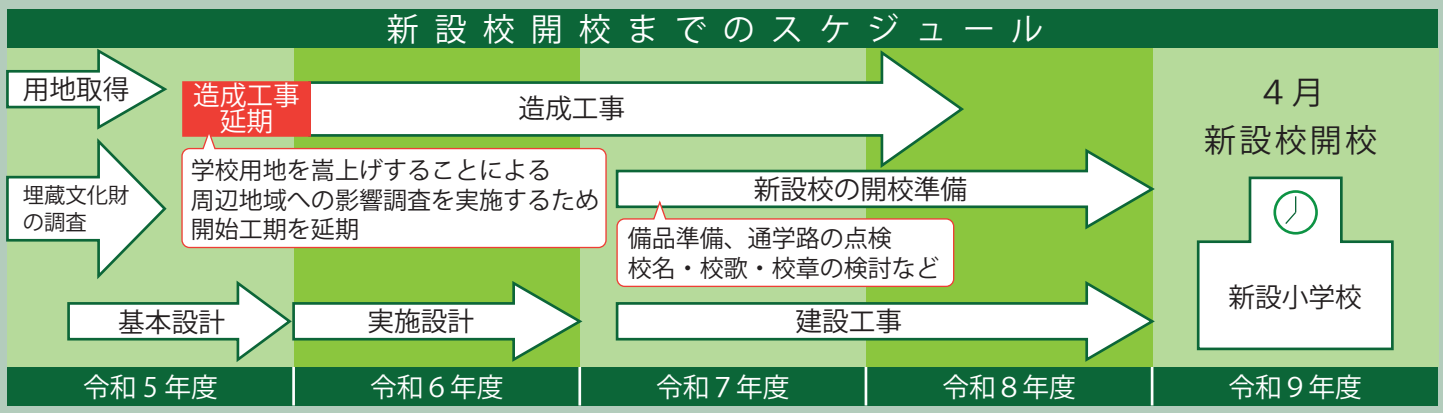
最後のワークショップを開催。基本設計図面が完成間近。

宮司地区に建設準備中の新設小学校の基本設計の第３回地域ワークショップを１２月１５日に宮司コミュニティセンターで開催。今回で最後のワークショップには、23 人が参加し、「地域との接点を考える」をテーマに、話し合いました。基本設計で作成する校舎や体育館などの図面は、令和６年２月頃に完成する予定です。

第３回地域ワークショップ内容

① 新設小学校建設事業　経過と予定
② これまで出た意見の反映状況と図面の説明
③テーマ　地域との接点を考える「学校をどう盛り上げていくかを考えよう」
・学校ができ上がるまでにできそうなことは？
・学校ができてから、地域の子どもたちとできそうなことは？

◆新設小学校建設事業　経過と予定◆



◆これまで出た意見の反映状況　一部抜粋◆

地域ワークショップを含め、教員ワークショップなどで出た意見が図面にどのように反映されているか、また反映されていない場合は、どうして反映できなかったかなどの反映状況を説明しました。

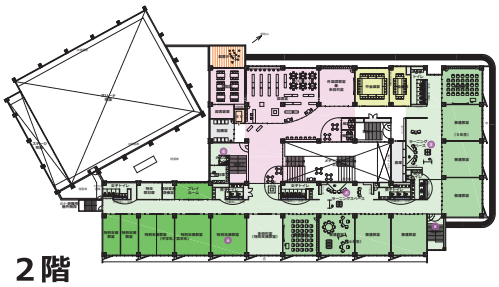
◎: 現プランで対応済　○: 現プランを改良して対応可
△: 保留　×：対応不可

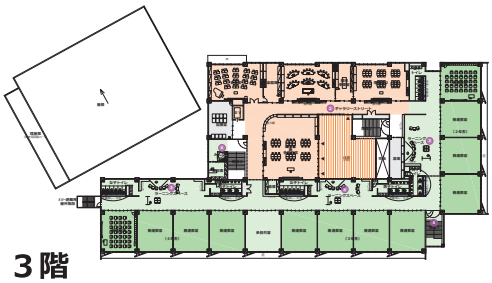
これまでの意見について反映状況の説明を聞く参加者

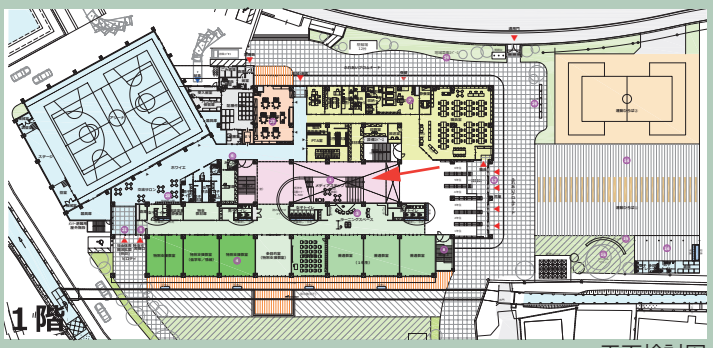
意見	反映状況	
体育館を２階建てにして１階部分を有効活用	×	駐車台数は増えるが、コストの増加や体育館の地域開放、バリアフリー面から困難。
発表したり劇ができる階段状のスペース	◎	発表・劇など多目的にも利用可能なメディアステップを計画した。
特別支援教室が小さい普通教室と同じサイズが必要	○	児童数ピーク時は多目的室を特別支援教室へ利用できる設えとし、最大限普通教室サイズが取れる広さを確保した。
地域開放が土日と放課後に限定されていて使いにくい	△	地域開放の時間帯などは今後の運用次第。

◆意見を反映した平面検討図の説明◆

　これまで出た意見を反映した平面検討図を説明しました。また、イメージしやすいように３Ｄモデルを利用し校舎内部を見てもらいました。







平面検討図

１階矢印部分から見た３Ｄ内部イメージ画像

◆ワークショップで話し合ったこと◆

参加者（各テーブル）から出た意見　「学校をどう盛り上げていくかを考えよう」

＜意見の一例＞

- メディアステップから図書館までの雰囲気が良さそうなので、一般開放が出来れば使いたい人が多そう。
- 子どもたちの学習用として、小学校の 3D モデルを配布できないか。
- 可能な範囲で工事に児童が参加してはどうか。
- 仮囲いに児童の絵をペイントする。
- 低学年の児童が色遊びなどをして遊ぶので、学校内の仕上げにいろんな色を取り入れてもらいたい。
- 工事中の様子を見学したい。
- 建設途中に地域の方々で芝生などの育成に関わりたい。
- 校区内の児童だけでなく、市内全校の児童に建設工事を関わらせて欲しい。
- 完成時に福間小学校と津屋崎小学校で合同学習イベントを企画したい。

学校どうを盛り上げていくか話し合う参加者

■お問い合わせ■

福津市教育委員会　教育総務課
Mail：kyoiku@city.fukutsu.lg.jp
TEL：0940-62-5092
FAX：0940-43-9004